

妊娠期から子育て期の家族を支えるために必要な視点と技術 ～ネウボラの面接とその人材養成から学ぶ～【東京会場】 実施要領

趣 旨

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない、関係者が一体となつての支援を目指して、全国自治体では、子育て世代包括支援センターの設置が進められています。同事業の効果的な進め方について、時系列及び関係機関との本質的なつながりが求められていることは理解が進んでいますが、もっとも大切な母親等対象者との「関係性の築き」については、サービスを提供する側と享受する側で多少の乖離がある場合もあり、支援が必要な人ほどその網の目からこぼれていく原因の一つともなっています。

子育て世代包括支援センターのモデルのひとつともなっているフィンランドの「ネウボラ」では、面接を重視し、傾聴と対話の中から対象者の自己効力感、自己決定力を支え信頼関係を構築することから、支援者は、母親、家族にとってかけがえのない存在となっています。

本研修では、フィンランドからネウボラを総括する立場にある方を招聘し、講演とロールプレイにより面接の重要性とそのための人材養成について学び、それを日々の事業にどのように落とし込み、妊娠期から子育て期の家族とどのように関係性を築き支えていくか、考える機会とします。

招聘講師：トゥオヴィ・ハクリネン先生

フィンランド社会保健省・国立保健福祉研究所母子保健部門研究総括部長
ネウボラの保健師としての長年の経験を出発点に、予防的ケア、特に妊娠期からの家族への支援、子どもの健康・発達支援の調査研究のリーダーとして、全国のネウボラへの定期的なモニタリング、ネウボラにかかる専門職の人材育成・研修、政策立案や法改正への提言など幅広く活躍。

日 時 平成30年10月26日(金) 10:30～15:30 *受付10:00より

会 場 日本看護協会 JNAホール (東京都渋谷区神宮前 5-8-2)

対 象 自治体保健師等母子保健担当者および関心のある方 120名(先着順) *受講料無料

プログラム 10:30～10:35 挨拶

10:35～11:00 ショートメッセージ「フィンランドと日本の妊娠・出産・子育て～ネウボラを利用して～」
講師 フィンランド大使館 報道・文化担当参事官 マルクス・ココ
通訳 同 広報部プロジェクトコーディネーター 堀内都喜子

11:00～11:50 講演Ⅰ「子育て世代包括支援センター事業を効果的に進めるために」
講師 公益社団法人 母子保健推進会議 会長 佐藤拓代

11:50～12:50 昼食・休憩

12:50～13:20 講演Ⅱ「フィンランドと日本の保健師活動と
ネウボラのエッセンスを取り入れた自治体の取り組み」
講師 大阪市立大学大学院看護学研究科公衆衛生看護学分野 教授 横山美江

13:20～15:00 特別講演「“ネウボラ”で大切にしていること
～関係性の築きに視点をおいた面接とその人材養成～」
講師 トゥオヴィ・ハクリネン(逐次通訳付)

*後半の30分程度でロールプレイを含む面接及び人材養成の実習を行います。

15:00～15:30 ディスカッション ご登壇の方々と議論を深めます。事前の質問も受け付けています。

申し込み メールまたはFAXにて、下記を記して送信して下さい。定員になり次第締め切らせていただきますが、その場合のみ、当方から連絡させていただきます。いただきました情報は、当該目的以外には使用いたしません。

【記載事項】①10/26 東京 ②お名前 ③ご所属 ④連絡先電話番号 ⑤質問(任意)

【送信先】E-mail: bosui@bosui.or.jp FAX: 03-3267-0630

主 催 公益社団法人 母子保健推進会議

共 催 日本学術振興会科研費助成事業「児童虐待予防強化のためのシステム開発を目指したフィンランドとの国際比較研究」(研究代表者:大阪市立大学大学院 横山美江)
フィンランド大使館

後 援 厚生労働省・公益社団法人 日本看護協会